

ひとづくり

第 15 号

弓削商船高等専門学校 情報工学科 広報誌 2018(平成 30)年 11 月発行



タイ・日ゲームプログラミングハッカソンに参加

授業再開前の平成 30 年 9 月 5 日～7 日にタイ日ゲームプログラミングハッカソンの予選大会が開催されました。この大会は、タイ王国に派遣中の青年海外協力隊員が中心となって企画・運営し、タイの高校生と日本の KOSEN（高専）生がゲームのプログラムを開発し、その完成度を競うことを通じて、それぞれの力を伸ばし、加えて、双方の理解促進という交流の目的をもった大会です。

予選大会では、中国四国の高専から 11 チームが参加し、各高専に設置した会場を繋いで、Unity や C# によるスクロールゲームの開発を行いました。本校チーム YuGEnity（情報工学科 2 年岸田一希、中神悠太、森上時静）はゴミ拾いと分別をテーマとしたゲームを開発し、みごと 1 位の評価を獲得しました。国際大会は、12 月に広島で開催される予定です。

シリコンバレージャパンユニバーシティ短期留学プログラムに本科学生が参加

夏休み中である平成 30 年 9 月 2 日～9 月 10 日の約 1 週間、本科 2 年生の学生 1 名がシリコンバレージャパンユニバーシティ短期留学プログラムに参加し、交流を深めました。短期留学プログラムには Apple やスタンフォード大学の見学なども含まれており、学生にとって海外への理解を深める機会となりました。

シリコンバレー短期留学の体験談



今回このプログラムに参加させていただきとても有意義な 10 日間を過ごすことができたと思う。しかし、帰国してから私の心の中に残っていたのは、「初めての海外は楽しかった」や「良い経験ができてよかった」などではなく、「自分の能力の低さに気づかされたことへのショック」だった。

プログラムに参加したメンバーは自分よりもレベルが高く、プログラムの内容も高度だったので、周囲について行くのがやっとだった。参加している間何度も自分の能力の低



さに気づかされて悲しくなった。

しかし、プログラムが終了して帰国すると、能力の低さに悲観するだけだった私に、このままの自分ではだめだという危機意識が芽生えた。弓削商船の中では上位の成績だった私は自信を持っていたが、世界を見ることによってそのようなことは全く大したことではなく、世界の普通レベルに達するにはもっと努力が必要なのだと感じた。もし、このプログラムに参加せずに弓削商船だけで過ごしていたら、自分の能力がどのくらいなのか気づくことはできなかっただろう。だから、このプログラムに参加することができて本当に良かったと思っている。

暗い話だけでなく、楽しかったこともたくさんあった。海外体験が初めての私にとって毎日が新しいことだらけで楽しかった。例えば、アメリカの「重くて多い」料理に衝撃を受けたことや、日本ではあまり見られない配車サービスの「Uber」や「Rift」を体験したことだ。また、観光では行くのが難しい NASA などの場所に行くことができ、講義も勉強になることばかりだったので、このような短期留学プログラムに 45 万円で参加できるのはとてもお得だと思う。

最後にプログラムに参加した私から後輩に一つ助言がある。留学プログラムではすべての講義が英語であり、現地の人と話すときも英語が少しできるくらいでは全く会話が成立しなかった。だから、事前にある程度の英語能力を身に付けてから参加することをお勧めする。

(情報工学科 2 年 谷川 晴哉)

今年も教員が日本学術振興会科学研究費を獲得

日本学術振興会科学研究費は、文部科学省が日本の科学技術イノベーションを推進するために行っている研究開発投資であり、国内で最も大きな規模の競争的研究資金です。

研究者	研究課題	研究資金
藤田 佳祐	折り紙的発想による超小型高性能折り畳みアンテナの開発	416 万円

老人ホームの夏祭りイベントでボランティア活動



平成 30 年 8 月 2 日、情報工学科 1 年生を中心とする 13 名が上島町特別養護老人ホーム海光園の夏祭りイベントでのボランティア活動を実施しました。参加した学生達は、利用者さんのイベント会場への連れ出しと連れ帰り、スイカ割りやゲームなどの補助員などのお手伝いをしました。盆踊りでは、利用者さんと一緒に踊ったり、車椅子を牽いたりするなど積極的にイベントに参加してくれました。最後に利用者の車椅子

を花火が揚がる方向へ移動し、一緒に花火を楽しみました。介護福祉の現場体験や車椅子に触れたこともない学生もおり、学生たちも貴重な体験となりました。

本取り組みは、地域との関わりを率先して深めていく KOSSEN (高専) 4.0 の採択事業として、上島町と連携して実施しました。



情報工学科 2 年の航海実習



呉にて

情報工学科 2 年生 (45 名) が、4 月 25 日から 1 泊 2 日の日程で弓削丸による航海実習と企業見学に参加しました。大半の学生は、弓削丸での航海は初めてで、船内での規律ある生活や団体行動を体験しました。企業見学では、呉市内に工場を置く精密加工装置の製造企業 (株式会社ディスコ) を見学しました。株式会社ディスコでは、実際の製品や工場での業務内容について説明を受けました。航海実習後、学生の感想を聞いたところ「職場環境を実際に見学して非常に魅力的だったので、将来はぜひこの会社に就職したい」等の回答がありました。なお、航海実習は、「海事工学演習 1」の履修単位として認定されます。

平成 30 年度・第 1 回オープンキャンパスを実施



本年度の第 1 回オープンキャンパスが平成 30 年 8 月 25、26 日に開催されました。本年は、7 月の豪雨災害の影響で上島町が 12 日間に渡り断水したため、急遽 8 月に変更になりました。2 日間で 66 名の中学生のみなさん、全体では 419 名 (保護者を含む) の方に情報工学科を見学していただきました。見学コースでは、「情報工学科の説明」、「マイコン部学生講師による Microbit プログラミング演習」、「5 年生による学生生活を振り返って・卒業研究作品の展示」、「mbot を用いたロボット制御」、等々のイベントを開催しました。各イベントでは、本科 5 年生を中心に下級生が学校説明や運営を担当しました。参加者のみなさまからは、「実験が多く分かりやすく勉強できる」「将来につながる教育をしてくれる」「充実した設備の中で自分も学びたい」といったご意見をいただきました。第 2 回のオープンキャンパスは、11 月 3、4 日に商船祭と併設して開催されます。

情報工学科 学生の活躍

今年度は7月の臨時休校期間があり、変則的な学事予定となりましたが、その中でも学生の様々な活躍が報告されております。情報工学科4年の佐光君(下の写真 左)は、臨時休校中にも実家近くのプールで練習を続け、好成績を収めています。10月までの情報工学科の学生の活躍を次にまとめます。

第5回中四国高等専門学校 春季弓道大会(3月)

女子団体の部 第3位： 松本 琴葉(I3),
旗手 菜々子(I3)
女子個人の部 第3位： 松本 琴葉(I3)



【弓道】全校集会にて

第42回全国高等学校囲碁選手権 愛媛県大会(6月)

男子個人戦 第3位： 行友 大貴(I1)

第55回四国地区高等専門学校体育大会(7月)

【硬式野球】 準優勝： 黒川 聖矢(I5), 岡本みのり(I5), 森岡 直哉(I4), 若井 光(I4)

【陸上競技】 男子砲丸投 第2位, 男子円盤投 第3位： 高瀬 玄渉(I3)

【ソフトテニス】 女子ダブルス 第3位： 岡 美波(I3), 山内 七聖(I1)

【剣道】 女子団体戦 準優勝： 加茂 真衣(I2), 田房 希歩(I1)

【卓球】 男子ダブルス 準優勝： 織田 拓生(I4), 高岡 巧(I2)

【バスケットボール】 男子 準優勝： 宮本 将利(I5), 原田 樹(I2), 尾崎 優次郎(I1), 平田 幸也(I1)

女子 準優勝： 川内 芽衣(I4), 箭内 楓(I4), 日野 暢子(I2), 横山 敬美(I1)

【水泳】 男子 400m リレー 第2位,

男子 400m メドレーリレー 第2位,

男子 200m 自由形 第3位：

佐光 彪(I4)



【水泳】男子 400m メドレーリレーにて

第15回安芸全国書展 高校生大会(8月)

入選： 佐藤 花菜(I4)



国立弓削商船高等専門学校

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削 1000 番地

<http://www.yuge.ac.jp/> TEL: 0897-77-4620

題字：馬越 唯(平成23年度情報工学科卒業生)

コンピュータ教育を通して、社会に役立つ「ひとづくり」を目指します。